

50018
2022.7

HAWAII

ハワイの「今」に迫る

～Friday night fireworks～

2020年3月より2年以上休止となっていたヒルトンハワイアンビレッジの花火ショーが2022年6月より再開！ローカル、ビジターから長年愛されている毎週金曜日の花火ショー再開は、ハワイが「コロナ禍」以前のムードに戻りつつあることを物語っています。

観光業回復の兆し

コロナの影響により、2020年より落ち込んでしまった来訪者数を、徐々に取り戻しつつあるハワイ。今年は、**2020年対比で3.3倍超の来訪者数**が見込めるとハワイ州は予測しており、ようやく観光業回復の兆しが見えてきました。（※1）

2022年3月より、マスク着用義務が撤廃され、現在コロナによる規制は何もない状況です。アラモアナセンターやロイヤルハワイアンセンター等といった大型ショッピングモールは毎日オープンしており、「コロナ禍」以前のように、お買い物を楽しむことができます。この2年間で閉店してしまったお店がある一方、ワイキキのインターナショナルマーケットプレイス内に、スイーツやココパフで有名な大人気店「リリハ・ベイカリー」が新たにオープンする等、ポジティブなニュースも沢山あります。

※1 出典：「hawaii.gov」より作成

	2019年	2020年	2021年	2022年（予測）	2023年（予測）
来訪者数（千人）	10,420	2,708	6,777	9,129	9,723

2022年夏は、ハワイ渡航の好機

2022年6月より、これまでハワイ入国時に必須だった「PCR陰性証明書」の提出が不要となりました。帰国時においても、入国時検査は実施されず、自宅待機も求められません。なお、入国条件であるワクチン接種は、2回目の接種から14日以上経過が条件となっており、3回目接種は、現状求められておりません。ただし、ハワイ入国時の「**英文ワクチン接種証明書**」、日本帰国時の出国前72時間以内の「**検査証明書**」は引き続き必要となりますのでご注意ください。航空情報について、全日本空輸（ANA）は、2022年7月より約2年半ぶりに**成田ーホノルル便**「フライングホヌ」の運航を再開することを発表し、毎週金曜日・土曜日に**週2便運航**を予定。**羽田ーホノルル便**については、7月から**週5便運航**を予定。日本航空（JAL）は、**羽田ーホノルル便**が8月には**毎日運航**へ増便を予定。**成田ーホノルル便**は**毎日運航に加えて、一部日程で2便に増便**を予定。2022年夏は、色々な側面から、ようやくハワイへ行きやすくなったと言える状況になりました。

「コロナ禍」前後で変わったこと

【ショッピングバッグ・レジ袋が禁止】

2020年1月より、プラスチック製やビニール製のレジ袋が全面禁止となりました。現在は、有料で紙製のショッピングバッグを購入できるのみとなり、エコバッグの使用がスタンダードになっています。

【非接触対応のサービスが増加】

多くのレストランから紙のメニューが撤廃され、テーブルに置かれたQRコードを読み込み、注文をするスタイルのお店が増えました。また、ホテルのチェックインについても非接触対応が増え、これまで以上にスマートフォンが旅行の必須アイテムとなりそうです。

【Bikiがさらに便利に】

ハワイにおける新たな交通手段の1つになりつつある、Biki（レンタサイクル）の設置場所が130箇所以上に増加し、利便性がさらに向上しました。また、レンタルする際の操作パネルは日本語が選択可能になり、英語が苦手な方でも安心してご利用頂けるようになりました。さらに、24時間乗り放題で\$12という新プランもでき、ハワイ旅行に欠かせない交通手段の一つとなりそうです。

【一部の観光スポットは事前予約必須】

シュノーケリングで有名な「ハナウマ湾」やハワイの象徴の一つであり、旅行の際は必ず登山する方も多い「ダイヤモンドヘッド」に行く際は、オンラインによる事前予約が必須となりました。今後もこのように事前予約が必要となる観光スポットが増加する可能性がありますので、インターネット等で事前に調べてから行かれることをおすすめします。



不動産マーケット情報

ハワイの不動産価格は上昇傾向にあり、「コロナ禍」の2020年はやや落ち込んだものの、2021年以降は戸建・コンドミニアムともに販売件数および販売価格中央値は上昇を記録しております。（※2）
また、中長期目線で見ても、2012年から2022年の10年間で、**戸建は「約2倍」上昇、コンドミニアムは「約1.7倍」上昇**を記録。（※3）
販売価格の上昇率が賃料の上昇率を上回っている為、利回りとしては下落傾向にありますが、実需・キャピタルゲイン・資産分散等を理由に、購入希望のお客様は増加傾向。円安が進む中、ドル建ての資産を保有したいというニーズも増えております。

※2 出典：「HiCentral」より作成

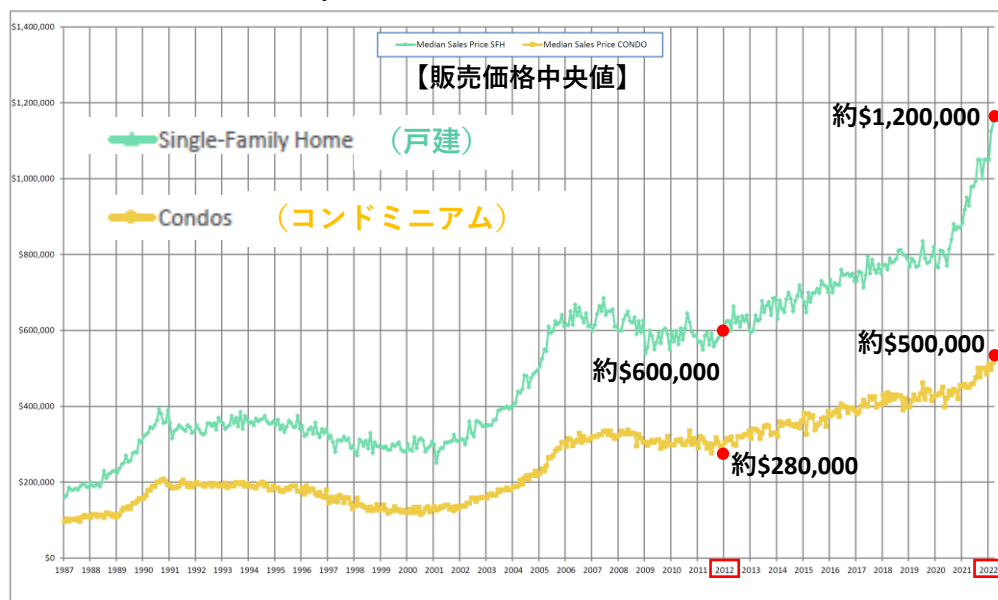
戸建

5月	2018年	2019年	2020年	2021年	2022年
販売件数	332件	320件	248件	405件	344件
販売価格中央値	\$778,000	\$770,000	\$797,000	\$978,000	\$1,153,500

コンドミニアム

5月	2018年	2019年	2020年	2021年	2022年
販売件数	495件	520件	254件	598件	688件
販売価格中央値	\$430,000	\$417,500	\$399,000	\$457,750	\$516,500

※3 出典：Title Guaranty Hawaii



おすすめ新着物件のご紹介

～The Ritz-Carlton Residences #1212～

- 販売価格：\$950,000（≒128,250,000円 ※\$1=135円と仮定）
- 竣工年：2018年（築4年） ■眺望：海、サンセット、街
- 専有面積：629sf（≒約58㎡） ■ラナイ：75sf（≒約7㎡）
- 物件概要：ハワイ随一の高級ホテルコンドミニアム。ハワイ滞在中は自己利用ができ、帰国時はホテル運用可能。実需×投資の併用ができる点や他のホテルとは一線を画する一流のホテルサービス、質の高いアメニティが高評価を得ています。全室オーシャンビューとなっており、室内は洗練された家具で仕上げられた贅沢な空間。室内設備も充実しており、ハワイでの優雅な暮らしが実現可能です。



不動産セミナーのご案内

当事業部では、毎月「海外不動産セミナー」を開催しており、各拠点の現地法人が全面協力のもと、最新情報を発信し続けております。次回は、**7月30日(土)10:00～11:00**を予定しており、対象地域は「ハワイ」となっております。

今回のテーマは、「**ワードビレッジ新築 VS 中古 賃貸市況を加味した選定方法とは**」という内容になっており、多くのお客様よりご相談を頂くテーマの詳細に迫ります。

右記QRコードよりお申込の上、是非ご視聴下さいませ。

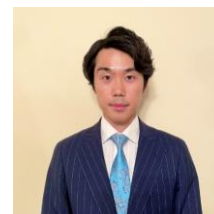
【セミナー申込用 QRコード】



<日本国内窓口>

スターツコーポレーション株式会社
国際事業本部 国際営業部

東京都中央区日本橋3-4-10 スターツ八重洲中央ビル 7階
TEL: 03-6202-0148 Email: kaigai@starts.co.jp
HP: <https://kaigai.starts.co.jp/>



本号担当者：風祭